

第三章 目的及方法

第六條 本組合員ハ相互ニ親睦ヲ厚クシ各國ノ工技ヲ發達シテ其得失ヲ較量シ蓄來ノ弊習ヲ矯正シテ本業ノ發達ヲ期シ以テ同業者ノ利益ヲ圖スルハ勿論公私ノ信任福利ヲ増進スルヲ以テ目的トス

第七條 本組合員ノ受領スル工料ノ標準ヲ定ムル爲メ組合員ヲ左ノ三種ニ區別スルモノトス

一 普通職工

一 甲 特別 但シ甲特別員トハ滿三ケ年間本賦課不納ナク經過セシモノニシテ五十五歳以上ニ限ル

乙 特別 但シ乙特別トハ丁年未滿ノ者トス

第八條 前條工料ノ標準ハ物價ノ騰降ニ依リ臨時總會ノ決議ニ依テ定ムルモノトス

第九條 本組合ノ事務所ニハ組合員名簿ヲ設備シ之レニ組合員ノ住所氏名及ビ其ノ他ヲ記載シ(費用賦課區別別共)當キ變更アル毎ニ之ヲ訂正スルモノトス

其加入又ハ退去アル場合ニモ亦記入又ハ削除スルモノトス

第十條 本組合員ニシテ造船請負ヲナス者ハ總テ造船ニ關スル法律規則ヲ遵守スベキモノトス

第十壹條 本組合員ニシテ造船ノ請負ヲナシタル時ハ請負金及受領ノ方法繪圖而仕樣書落成期限等ヲ明記シ其依頼者ト約定シ置クモノトス

第十貳條 本組合員ハ請負工事未成中天災ノ爲メ生ジタル損害ハ何レニ於テ負擔スルヤヲ豫メ依頼者ト約定シ置クモノトス

第十參條 本組合員ニシテ自ラ材料ヲ供スル造船ノ請負ヲナシタル時ハ總テ相當ノ物質ニシテ堅固耐久ノモノヲ撰用シ時々依頼者ノ檢定ヲ受ケルモノトス

第十肆條 本組合員ハ己ノ利益ヲ達スル爲メ他人ノ得意先キニ背シテ仕事ヲナシ若シクハ他人ガ請負約定取極メ中ナルヲ知りテ低價ノ請負ヲ申込ム等他人ノ妨害トナルヘキ所爲アルベカラズ

第十伍條 本組合員ハ頭取ヨリ指定シタル書式ニ準ジ毎年三月八月兩度其前半期間